

Ⅲ 学校運営

佐渡市立前浜中学校

前浜中学校は、平成 24 年度に前浜小学校と小中連携校となり、一つの校舎で教育活動を行っている。「生徒も教職員も元気で地域に愛される学校」を目指して、小学校や地域との連携・協働をさらに充実させ、特色を生かした魅力ある教育活動を行う。

1 学校経営基本方針

(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

教育目標「『知性を磨く』『品性を高める』『心と体を鍛える』」を目指した活動を積み重ね、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進している。

生徒が主体的・意欲的に学校生活を送るためには、「自立」を促し、自ら考え、判断し、行動できるよう働き掛けることが大切である。また、自分の存在を価値あるものとして受け止める感覚である「自己有用感（自尊感情）」が不可欠となる。教師には、生徒の取組に向き合い、結果だけではなく工夫や努力の過程を価値付け、自信や次の活動への意欲を育むことが求められる。この「自立」「自己有用感」の高まりによって、学校や地域へも広く自信と誇りを抱き、主体的な生活を実践する生徒を育てたい。

(2) 地域の特色を生かした地域に愛される学校づくり

地域の豊かな自然や伝統・文化、人材を有効に活用し、学校・保護者・地域住民が連携・協働した教育を推進する。

「コミュニティ・スクール」の効果的な運営によって、保護者や地域住民等も教育の当事者として、積極的に教育に携わることが期待される。地域の力を生かした学校運営や教育活動の実現は、学びや体験の充実だけでなく、教職員が生徒と向き合う時間の確保につながる。

2 重点項目

(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」、学習習慣の確立

- ① ICTの活用や体験を通じた学びによって学習意欲を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、生徒一人一人に必要な力を育てる。
- ② 「前浜中スタンダード 10」を実践し、UDLの視点から学びやすい学習環境を整え、生徒一人一人の学習の最適化を図り、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感させる。
- ③ 小規模校の利点を生かし、きめ細やかな指導・支援を充実させ、主体的な学習を促して、授業と家庭学習の質的向上を図る。

(2) 豊かな心と社会性を育む教育の推進

- ① 他者や集団との関係の中で、お互いを尊重し認め合い、誰とでも協調して活動できる優しさと貢献する心を育てる。
- ② 授業や様々な活動を通して、「自己有用感や人間関係づくりの能力、規範意識、困難に対して他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度」といった社会性を育てる。

(3) 健康でたくましい心身を育む教育の推進

- ① 保健体育の学習や部活動等を充実させ、生涯スポーツの基礎となる体力の向上を図る。
- ② 保健指導や食育指導等を進め、健康の保持増進を図る。

(4) 地域に学び、郷土を愛する生徒の育成

- ① 地域の多様な人材を生かした学習及び交流活動を積極的に取り入れ、郷土を知り、愛し、郷土を誇りに思う生徒を育てる。
- ② 既存の学習活動に佐渡市 SDGs 未来都市計画を反映させるとともに、職場体験や地域の伝統文化体験などに積極的に参加し、地域課題解決に貢献できる生徒を育てる。